

3社をワンフロア化し京都府農業農村創生センターとして事業を推進!!

京都府（経営支援・担い手育成課）
京都府農業農村創生センター

背景

- ・農家の平均年齢が68.9歳である京都府では、担い手がない集落が全体の4割存在
- ・一方、耕作放棄地は、3,092ha（H27 農業センサス）あり、年々増加
- ・農地を守り農業を振興するため関係者が一丸となって対策を行う必要

設立目的

- ・農地中間管理事業（農地集積）の推進をはじめ、担い手の確保・育成、ものづくり、更には耕作放棄地対策、移住対策までを行政、関係団体が一体的・戦略的に推進

構成団体及び運営方法

- ・京都府、京都府農業会議、（公社）京都府農業総合支援センター（農地中間管理機構）
- ・連絡調整会議（会長、事務局長、構成団体事務局長及び経営支援・担い手育成課長）で事業進捗管理、課題の把握等により中間管理事業をマネジメントし、実践に繋げる

農地中間管理事業執行体制等

